

令和7年12月17日付【日本下水道新聞】

関東支部<遠山鉄工所で研修会体験交え理解深める>



天野委員長 遠山代表取締役

遠山鉄工所で研修会
体験交え理解深める
水コン協関東支部
全国上下水道コンサル
タント協会関東支部は11
月25日、遠山鉄工所本社
・久喜工場で第18回水道
関係者現場技術研修会を
開催した。研修会は、上
水道コンサルタントの資
質向上を目指して同支部
が平成17年から実施して
いるもの。若手を中心には
31人が参加し、現場研修
を通じて技術の習得・研
究を図った。

参加者は同工場の説明

と「TIE ADAPTER」によるダクタイル鋳鉄異形管の接合を体験。同製品の詳説も受け、理解を深めた。

同工場は、実際の管と
同じ形に製造した模型の
周辺に砂を固めて鋳型を作
る「現型」と、木枠や
板を用いて一つひとつ手
づくりする鋳型造形方法
「カキ型」でダクタイル



接合に挑む

鋳鉄異形管を製造している。カキ型を用いて製造できるのは同社のみ。羽生工場と合わせて、全域(75~2600ミリ)の口径の異形管をワンストップで製造でき、大口径のダクタイル鋳鉄異形管の分野では、国内で圧倒的なシェアを誇る。規格外の角度に対応した曲管等も製造可能。

『TOHYAMA TIE ADAPTER』は、フランジ継手を中フランジランジ継手を中フランジに植え込みボルトで固定するもの。フランジ継手が伸縮性を持つており、球形座金を使用することで、斜めになつても固定可能。K型ゴム輪と同等形状のTIEゴム輪により、高い水密構造を実現できる。

■題あいさつした同社の遠山善彦代表取締役は、「異形管の工場を直接見

いか」と述べ、「『手つくりだからこそ、何でもできる』ということじろをございただければ」と呼びかけ、有意義な研修となることを祈念した。

同支部上水道委員会の

天野幹大委員長(NJS)

は、「ぜひ経験を持ち帰

り、通常業務に生かして

いただけたら」と期待を

込めた。